

平成 25 年 4 月 19 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

三和ホールディングス株式会社に「S M B C 事業継続評価私募債」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は、三和ホールディングス株式会社（代表取締役会長兼社長：高山 俊隆）の発行する「S M B C 事業継続評価私募債」の買受けを実施致しました。

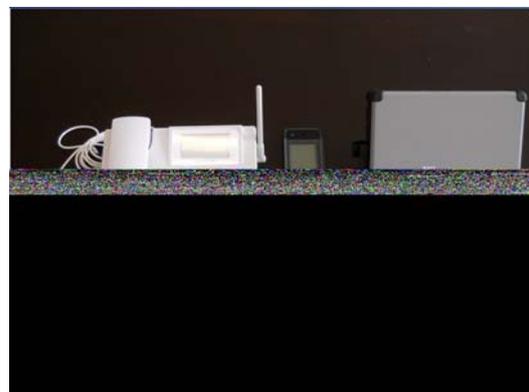
「S M B C 事業継続評価私募債」は、株式会社インターリスク総研（代表取締役社長：近藤 和夫）^{*1} と共同で開発した独自の評価基準に基づき、企業の事業継続計画（BCP^{*2}）および事業継続マネジメントシステム（BCMS^{*3}）の構築・運用状況を評価し、評価結果に応じた買受け条件の設定を行うとともに、事業継続における今後の改善余地について、株式会社インターリスク総研より還元させていただく商品です。

今回対象となりました三和ホールディングス株式会社の事業継続への取組みに対する評価では、①緊急時対応および事業継続の取組みに関し、事前対策（事業継続戦略）および復旧アクションが俯瞰的に作成されている点や、②復旧アクションについては、必要なサプライヤーが洗い出され、具体的な連携方法が確立されている点などが高く評価される結果となりました。

三井住友銀行では、「S M B C 事業継続評価私募債」により、有事における企業の事業継続対応のための体制構築を支援するとともに、企業のリスク管理の取組みを金融の立場から支援することで、持続可能な社会の実現に貢献して参ります。



< 有事の際の社内備蓄 >



< 衛星電話および P H S 電話機の配備 >

<ご参考>

※1 インターリスク総研

MS & ADインシュアランスグループで「リスクマネジメント事業」を担うコンサルティング会社。企業の事業継続やリスク管理における豊富なコンサルティング実績を持ち、事業継続分野の国際協会であるBCI（事業継続協会）の日本支部代表として認定を受けている。

※2 事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）

事故や災害などが発生した際に、「いかに事業を継続させるか」若しくは「いかに事業を目標として設定した時間内に再開させるか」について作成する計画書および手順や情報を文書化したもの。

※3 事業継続マネジメントシステム（BCMS：Business Continuity Management System）

BCPをもとに組織の復旧力や対応力（事業継続性）を継続的に向上させるフレームワークおよび仕組みのこと。BCMSは、BCPの策定から運用、見直しまでのマネジメントシステム全体を指し、事業継続への取組みが効果的に運用管理され、必要に応じて改善し、それを実行するためにはPDCA（Plan Do Check Action）を実現するマネジメントが要求される。

以 上